



あすか

No.22

川崎市宮前区 青少年指導員会 宮前地区広報誌

2016年3月31日 発行 第22号

発行者:宮前地区青少年指導員会
会長 岸 真介

事務局:宮前区役所地域振興課内
TEL.044-856-3135

ディスカバーウォークみやまえ 歩いて見つける街の色

2月28日(日)『ディスカバーウォークみやまえ』が開催されました。

各地区テーマの色を探しながら、それぞれのコースを散策し中央会場となった鷺沼公園に200人程が集まりました。

暖かい日射しのなか、動物交差点(ネイチャーゲーム)・人間かるた・ドッチビーなど短い時間でしたが、大人も子どもも一生懸命走り回り、とても楽しい一日

を過ごすことが出来ました。

アンケートには、『こんなに歩いたのは初めてだ』『楽しかった!けど歩くのは疲れた』等と子どもたちからの感想がよせられました。

今後も、大人も子どもも楽しめるそんな活動が出来ればと思います。ご協力頂いたボランティアの皆様大変にありがとうございました。



第30回宮前区青少年作品展

11月14日(土)～16日(月)に宮前区役所4階にて開催しました。今年度は書道の部110点、絵画の部184点の合計294点の出品数があり、来場者数も461名を記録し、大盛況となりました。

今回も図書館前広場にてチョークアートを開催、皆さん思い思いの絵を書いていた。入選作品は区役所2階ロビー(12月3日～11日)に加え、市民館ギャラリーでも(11月27日～12月2日)展示し624名の

方々に見て頂く事が出来ました。沢山の方が宮前区の子どもの作品に感動して頂けた事だと思います。

審査委員は、西野川小学校教諭 草開朝央先生(書道の部) 西野川小学校教頭 白川由紀子先生(絵画の部)にお願いを致しました。

ありがとうございました。

【お詫びと訂正】 あすか21号(2015.9発行)にて誤りがありました。ここに訂正すると共にご迷惑をおかけした方々にお詫び申し上げます。

■最終面「これであなたも芸術家!!」 小野田浩士先生(宮前平小)→(宮崎台小) 桶尻愛美先生(宮前平小)→(宮崎台小)

●●●第30回宮前地区青少年作品展入選者名簿●●●

【絵画の部】

【区長賞】

中学1年生 杉谷 はな

【青少年指導員会会長賞】

小学4年生 杉谷 直音

【東京新聞賞】

小学1年生 さいとう しんぺい

【絵画入選】

小学1年生 あんどう かほ

// 上野 ゆあ

小学2年生 小池 哩緒

// 坂手 悠真

// 西野 志鷲

// 別府 敬太

// 松浦 快

// 山本 庸治

小学3年生 小関 琉璃

// 駒井 彩乃

// 中村 伸哉

小学4年生 今井 みのり

// 杉野 蒼哉

// 鈴木 成実

// 野崎 烈華

// 原田 歩実

// 文屋 晴翔

// 木田 輝帆

// 桜井 政龍

// 常世田 朋佳

【絵画入選】

小学4年生 中村 啓太

小学6年生 北川 海斗

中学1年生 秋吉 果朋

【ちぎり絵入選】

小学4年生 青木 千佳

小学5年生 金城 葉菜

【イラスト・デザイン入選】

小学2年生 二村 はる人

【絵画佳作】

小学1年生 山賀 颯介

小学2年生 秋吉 彩生

小学3年生 中井 優希

小学4年生 青木 千佳

// 永尾 結椰

// 平川 玄侑

小学6年生 常世田 佳澄

【ちぎり絵佳作】

小学1年生 田島 陽咲

小学4年生 岡 俊博

【イラスト・デザイン入選】

小学4年生 前田 紅葉

【書道の部】

【区長賞】

中学1年生 北田 千智

【青少年指導員会会長賞】

小学1年生 小林 飛翔

【東京新聞賞】

小学4年生 小川 万葉奈

【書道入選】

小学1年生 杉本 拓海

小学2年生 桑折 隆之介

小学3年生 小林 苺佳

小学4年生 齊藤 惇

// 谷藤 佑香利

// 東代 祐佳

小学5年生 今西 希

// 岸 勇平

// 常峰 萌

// 宮嶋 友香

小学6年生 石井 裕也

// 清田 峻之介

// 谷藤 正康

中学2年生 島田 実咲

【書道佳作】

小学2年生 東代 紋佳

小学3年生 小川 葵葉

小学4年生 齋木 千慧

小学5年生 関田 龍之介

中学3年生 齋木 悠佑



青少年指導員・PTA 地域巡回パトロール活動情報交換会

9月26日(土)宮前区役所大会議室においてテーマ「子どもたちの笑顔を守るため」～地域としての取り組みを考える～のもと行われました。

今回は、講師として宮前警察署生活安全課防犯少年係 吉田真也警部補より講話をして頂き、また、宮前区役所こども支援室 杉山俊成室長のあいさつを頂きました。

その後中学校区ごとに分かれて分科会として活発な意見交換が行われ、具体的な活動内容を発表し、PTA・校外委員と青少年指導員が相互に連携し、情報を共有することができました。

これからもこの意見交換の内容を参考にし、多くの地域の方々のご協力を得ながら未来の宝である子どもたちの安全・安心について行動していこうと強く思いました。



川崎市青少年指導員研修会 [子どもと地域の安全をどう守るか]

12月13日(日)川崎市青少年指導員研修会が、川崎市立土橋小学校にて、小宮信夫氏(立正大學文学部社会学科教授)を講師に迎え「子どもと地域の安全をどう守るか」の講演が行われ、宮前区より16名参加しました。

子どもが多いから ~~安心~~ → 犯罪者は偶然を装い子どもを連れだす。
人通りが多いから ~~安全~~ → 獲物がいっぱい。
犯罪者は、子どもに近づきやすく、逃げやすい場所を好む。



以上の様な傾向から、公園などで遊んでいる子どもを物色している大人を注意する事が大事だと説明して頂きました。

また、非行防止には、

- 他人との繋がり ●地域との繋がり
- 未来との繋がり(子どもたちの夢・目標) とありました。

今回の研修会に参加して、地域との繋がりを深める事を常に意識し、声掛けなどで子どもたちを見守って行きたいと思いました。

宿泊視察研修会 ～IN 日光～

3月12日(土)～13日(日)に、青少年指導員宿泊視察研修会が行われました。

今回の行き先は、小学校の修学旅行の定番である日光を新たな気持ちで研修し、学んでいこうとの企画で行われました。

2200万年前、海底火山の噴火で噴出された火山岩が鬼怒川の流れによって浸食され、現在の絶景となった龍王峡の散策、前日の雪で綺麗に雪化粧された華嚴の滝、御鎮座400年の年となった世界遺産の日光東照宮などを見学しました。



参加した指導員も小学生以来の日光に夢中でした。

東照宮では現地のガイドさんの同行で石鳥居、五重塔、神厩舎・三猿、陽明門、眠り猫、鳴龍など、解り易い説明であつと言う間の2時間でした。中でも修復工事が始まったことにより発見された、陽明門の二重壁に隠された2面の壁画はその素晴らしさに興奮を隠せませんでした。この壁画は修復が終わると再び壁に隠されてしまうため、今しか見れない貴重なものでした。

とても楽しく、有意義な青少年指導員(修学旅行!?)視察研修会となりました。

第34回宮前区民祭 小さな手 大きな手 みんなで築く宮前区!!

10月18日(日)第34回宮前区民祭が、本年も宮前区役所、宮前市民館周辺にて開催、多くの方が来場されました。

また市民館を利用したの演目は、演奏、合唱、ダンスなど様々な団体が出演され、日頃の成果を発表していました。

私たち青少年指導員会は、総合案内、啓発キャンペーン、後片付など運営協力をしました。



平成27年度において下記の青少年指導員が表彰されました
おめでとうございます。益々のご活躍をお祈りします。



神奈川県青少年育成活動推進者表彰
神奈川県青少年指導員表彰
豊島 このみさん



川崎市青少年健全育成成功労者表彰
齊藤 喜則さん



平成27年度 宮前地区青少年指導委員会の事業報告

4/27	宮前地区総会	11/27	第30回宮前地区青少年作品展 入選作品展示会
6/28	宮前区青少年指導員連絡協議会研修会	~12/2	市民館ギャラリー
7月中	有害図書類区分陳列調査	12/3	第30回宮前地区青少年作品展 入選作品展示会
7/11	青少年の健全育成を進める県民大会	~11	宮前区役所2階ロビー
7/11	宮前地区巡回映画会	12/13	川崎市青少年指導員研修会
~8/1		2/9	川崎市青少年健全育成成功労者表彰式
8/22	第17回響け!みやまえ太鼓ミーティング 運営協力	2/14	神奈川県青少年育成活動推進者表彰式
9/6	絵画教室「これであなたも芸術家!」	2/28	ディスカバーウォークみやまえ 運営・実施
9/30	広報誌「あすか」21号発行	3/12・13	宿泊視察研修会
10/18	第34回宮前区民祭 運営協力	3/20	川崎市青少年フェスティバル 会場整理等
10/24	区老連スポーツ大会 運営協力	3/31	広報誌「あすか」22号発行
11/14	第30回宮前地区青少年作品展		
~16		毎週	地域巡回パトロール 4地区交代で実施
11/15	第48回神奈川県青少年指導員大会	随時	役員会、全体会、実行委員会等は随時実施

※その他、町内会・自治会他、県・市・関係諸団体の行事、会議、研修会、シンポジウム等に協力参加しました。



「あすか」22号発行に向けご協力有難う御座いました。2月開催のディスカバーウォークでは、晴天に恵まれ多数参加となり大変盛り上がりました。地元地域や町会、自治会、子ども会のお力添えに感謝申し上げます。

編集委員一同、地域貢献のため異体同心の団結でこの1年取り組み、無事に終わることができホッとしております。編集委員：山本友彦、高津京子、子安栄美子、本田弦、佐々木久雄、村上日出国、蕪木英明(順不同)